



モジ・オボエール

班員 大野菜月 時任愛菜 吉岡樹里

萱野みずき 淡島樹

指導者 大西圭先生

研究の動機

・暗記力向上に有効な文字色と背景色の組み合わせが分かれば、教師になった時の、授業や板書、英単語や年号などの暗記のしやすさに繋がると思うから。

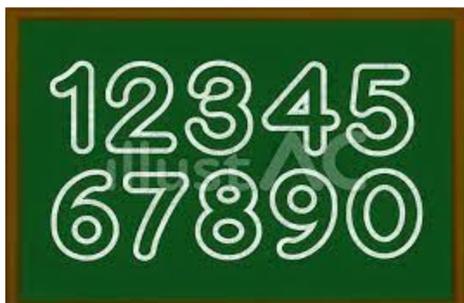
研究の目的

ターゲット: 現役学生(延岡高校生20人)
背景色の違いによる記憶への影響と忘却率の変化を解明することが目的

研究方法

4ケタの数字を用いて、色・大きさを変えたものを被験者に配り、2分間で覚える。そして、結果をデータとして出す。
長期→1週間あけてテスト
短期→実験後すぐにテスト

1831	8194	0726	8542	5946
2876	2436	9316	1425	6087
8260	2457	7059	0261	3761
6347	8701	2754	2135	



必要な道具

- ・4ケタの数字を書いた紙×600枚
- * 黒板色・白・黄色 各200枚
- ・色ペン(赤・青・黒・緑)
- ・パソコン(結果をグラフ化)

仮説

- ・学校の授業で使用されていて見慣れているから黒板色が1番頭に入りやすいのではないか。
- ・文字色との組み合わせを考えると背景は暗めの色か白がいいのではないか。



研究計画

【回数】

一ヶ月の中で3回の実験を行う
(1日1色)

→1回の実験で20人同時に行う
1回の実験で20個のデータを採取

【期間(実験)】

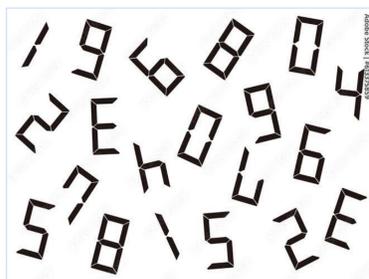
一ヶ月で60個→二ヶ月で120個

【その後……】

結果とグラフ化、
忘却率のデータを採取
足りなければプラスで実験

【準備】

被験者に渡す用のプリント
(①数字の書いたもの
②白紙の回答用)



参考文献

2018年 伊藤 雅敏

「文字種類の違いによる記憶への影響と忘却率の変化」